

クルーズ船訪日客 失踪相次ぐ 福岡・長崎

観光目的のクルーズ船で入国した外国人が船に戻らずに失踪するケースが、福岡、長崎両県だけで昨年1月から今年8月末までに計34人上がったことが両県警

の調べでわかった。クルーズ船に対応するため簡略化された入国手続きを悪用、不法残留しようとした外国人もいるとみられ、関係機関は警戒を強めている。

外国クルーズ船の寄港数が昨年245回と全国最多の博多港を抱える福岡県では昨年、中国人11人が観光地や大型商業施設で行方不明になり、今年は8月末ま

でに6人が失踪。寄港数で2位の長崎港がある長崎県でも昨年11人、今年は6人が失踪した。計34人の内訳は、中国人が31人、ネパール人2人、フィリピン人1人だった。失踪後に飲食店で不法に働き、入管難民法違反容疑で逮捕されたケースもあったという。

国土交通省によると昨年、クルーズ船での訪日外国人観光客数は約111万6000人に上り、前年比約2・7倍と急増した。クルーズ船は一度に大勢の外国人が上陸するため、入国管理当局は昨年1月から入国手続きの効率化を本格導

入。写真撮影や口頭質問を省略し、指紋採取のみで審査できるようにしたほか、ビザの取得を不要にしている。福岡入国管理局は「手続きの簡略化が失踪につながるらないよう、厳格に対応したい」としている。

当社指定商品 最短30分でお届け
ビック超速便
ビックカンゴ